

令和 7（2025）年度 4 月入学

April 2025 Admission

金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

Graduate School of Human and Socio-Environmental Studies
(Master's Course), Kanazawa University

学 生 募 集 要 項

Guidelines for Applicants

〔第 1 期募集・第 2 期募集〕

一 般 選 拔
社 会 人 特 別 選 拔
外 国 人 留 学 生 特 別 選 拔
短 期（1 年）在 学 型 選 拔
学 内 推 薦 特 別 選 拔

General Selection

Special Selection for Working Adults

Special Selection for International Students

Selection for the Short-term (1 Year) Enrollment-type System

Special Selection by Recommendation for Applicants within the School



令和7(2025)年度4月入学 人間社会環境研究科(博士前期課程)入試日程

専攻	第1期募集					第2期募集				
	【出願期間】 令和6(2024)年 5月20日(月) ～ 5月24日(金)					【出願期間】 令和6(2024)年12月 9日(月) ～ 12月13日(金)				
	【試験日】 令和6(2024)年 7月 6日(土)					【試験日】 令和7(2025)年 2月 1日(土)				
	【合格者発表】 令和6(2024)年 7月29日(月)					【合格者発表】 令和7(2025)年 2月20日(木)				
	一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜	短期(1年)在学型選抜	学内推薦特別選抜	一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜	短期(1年)在学型選抜	学内推薦特別選抜
人文学専攻	●	●	●	/	/	●	●	●	/	/
経済学専攻	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
地域創造学専攻	●	●	●	●	/	●	●	●	/	/
国際学専攻	●	●	●	/	/	●	●	●	/	/

注1. 出願資格によっては、出願前に出願資格事前審査が必要な場合があります。審査に必要な書類の提出期間は、下記のとおりです。詳細は、5出願資格事前審査を確認してください。

第1期募集: 令和6(2024)年5月8日(水)まで、第2期募集: 令和6(2024)年10月31日(木)まで

注2. 試験日及び試験科目等の詳細については、9選抜方法及び10試験日時を確認してください。

(注意)

出願する入学者選抜に関するすべての事項は、志願者本人が出願する入試区分の学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。

(自然災害・感染症等に関する本学大学院入学試験における対応)

今後の状況の変化により、急遽、入試実施日、選考方法も含めて変更等が生じる場合があります。その場合は、人間社会環境研究科Webサイトでお知らせします。



『自然災害により被災した志願者の検定料免除』

金沢大学では、自然災害等の被災者の経済的負担を軽減し、志願者の進学機会を確保するため、検定料免除の特別措置を講じます。対象とする自然災害及び被災地域など、免除に関する詳細は、本学Webサイトを確認してください。

本学(入試情報・高大院接続)検定料免除・返還Webサイト

https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/kenteiryō_henkan

検定料の免除を希望する場合は、出願前に本学学務部入試課まで連絡してください。

連絡先 TEL: 076-264-5169 E-mail: boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp



目 次

1	人間社会環境研究科（博士前期課程）について	1
2	学生受入方針（アドミッション・ポリシー）	2
3	募集人員	3
4	出願資格	3
5	出願資格事前審査	4
6	出願期間	5
7	出願手続	5
8	受験票の印刷	9
9	選抜方法	10
10	試験日時	15
11	合格者発表	16
12	入学手続	16
13	授業料等納付金	16
14	その他	
	（1）英語外部検定試験の受験について	17
	（2）標準修業年限	17
	（3）大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例制度	17
	（4）長期履修制度	18
	（5）障がいのある者等の事前相談	18
	（6）英語での受験及び修学を希望する志願者の事前相談	18
	（7）金沢大学独自の奨学金制度（外国人留学生対象）	18
	（8）外国人留学生日本就職促進プログラム 留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト「Link KAGAYAKI」	18
	（9）注意事項	19
	（10）過去の試験問題の公表	20
15	個人情報の保護	20
16	問合せ先	20
17	参考資料（入学者数等一覧）	20
18	担当教員一覧	
	（1）人文学専攻	21
	（2）経済学専攻	24
	（3）地域創造学専攻	25
	（4）国際学専攻	27

令和7（2025）年度4月

金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）学生募集要項

1 人間社会環境研究科（博士前期課程）について

人間社会環境研究科は2006年4月に発足しました。本研究科の目的は、グローバル化、情報ネットワーク化、少子高齢化等の急速な進展に伴い、「人間」「社会」に関する既存の専門分野（人文学、経済学）並びに「環境」という概念で包括される学際的な分野（地域創造学、国際学）の知見をふまえた総合的な研究・教育のニーズに応えようとするところにあります。また、現代社会及び人々の様々な問題を理解し、解決する手段を持つ専門家を養成します。

人間社会環境研究科の3つの目標を述べましょう。第一に、専門的知識、方法、技術を修得し、政策立案と問題解決能力を有した高度専門職業人の育成及び自国の発展と国際交流に寄与できる人材の養成です。これは、社会が大学院教育に求める多様なニーズに対応しています。第二に、「人間社会環境」に関する教育研究拠点の形成です。それは、北陸地方はもちろん、日本全国における先駆けとしての学際・総合型の人文・社会系研究を根付かせ、発展させることを意味します。そして第三は、教育研究を通じた地域及び国際貢献であり、社会人学生と留学生の受入の積極的な推進などを通して、大学院レベルでの教育研究の成果を国内外の社会に還流させます。

以下に、専攻及びコース・プログラムの編成と授与する学位を示しますが、わたくしたちの目標は、既存の分野の学問を継承しつつ、現代的問題に的確に対処できる新たな知の営みを創造していくことです。

専攻及びコース・プログラムの編成、授与する学位

専攻名	コース・プログラム名	授与する学位（修士）
人文学専攻	学際総合型プログラム（以下5プログラム） 認知科学 ヨーロッパ・東アジア文化圏史 比較文学 ジェンダー学 文化資源学	修士（文学） 修士（学術）
	専門深化型プログラム（以下16プログラム） 哲学、心理学、社会学、地理学、文化人類学 日本史学、東洋史学、西洋史学、考古学 日本語学日本文学、中国語学中国文学、英語学英米文学、 ドイツ語学ドイツ文学、言語学 文化遺産学、比較文化学	
	公認心理師養成プログラム	
経済学専攻	経済理論・政策コース 国際社会・経済コース 経営情報コース	修士（経済学） 修士（経営学） 修士（学術）
地域創造学専攻	地域創造学コース 教育支援開発学コース	修士（地域創造学） 修士（学術）

国際学専攻	国際関係・地域研究コース 国際関係学／アジア地域研究／米英地域研究／ヨーロッパ地域研究 日本語教育・日本文化研究コース 日本語教育学・日本語学・日本文化学	修士（国際学） 修士（学術）
-------	--	-------------------

2 学生受入方針（アドミッション・ポリシー）

人間社会環境研究科（博士前期課程）は、「人間」「社会」「環境」という多分野横断的な領域で活躍できる創造性豊かな人材の養成をめざします。したがって、研究科はそれぞれの学問分野における専門的学力を有するだけでなく、それを基礎に、学際性・総合性を生かした視点から先端的な研究をさらに進めようとする学生を求めます。

さまざまな経歴・志向を持った学生を受け入れるために、一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜、学内推薦特別選抜、そして短期（1年）在学型選抜と、多様な選抜方法を実施します。また、受験機会を増やすために、選抜方法によっては第1期と第2期に分けて2回の試験を行います。

一般選抜では、大学卒業後に入学を希望する学生を主な対象として、将来的に研究者を志望する者、幅広く専門的知識を修得する者や専門的職業人をめざす者、等について十分な専門的学力と資質が備わっているか否かを判定します。

社会人特別選抜では、大学卒業後、一定の年限を経過し、社会人として様々な経験と知識を蓄積してきた人を対象に、一定の専門的学力や問題意識の明確性等について判定します。

外国人留学生特別選抜では、様々な国からの留学希望者を対象に、専門的学力について判定します。

学内推薦特別選抜は、経済学専攻において実施され、当該専攻に係わりの深い金沢大学の関係学類の学生を対象にして、その成績優良者に記述試験を免除するものです。

人間社会環境研究科（博士前期課程）は、2年以上の在学期間を必要とする標準在学型のほか、仕事を続けながら短期間で修士の学位を取得できる短期（1年）在学型制度を、経済学及び地域創造学の各専攻に設けています。

短期（1年）在学型選抜は、自治体、企業、学校、非営利組織、その他において社会人としての経験をお持ちの方が、それぞれの仕事を通じて育てた問題、関心や蓄積した資料をふまえて、一定の理論的整理を行いながら論文（リサーチペーパー）をまとめることを念頭においています。修了後、博士後期課程への進学を想定するものではありません。博士後期課程への進学を希望する場合は、通常社会人特別選抜に出願してください。

人間社会環境研究科（博士前期課程）では、人文学専攻、経済学専攻、地域創造学専攻そして国際学専攻の4専攻の下に多様なプログラムとコースが設けられており、入試は専攻単位で実施します。どのような教育目的・教育目標の下に、いかなる学生を受け入れようとしているのかという点については、以下に専攻別のアドミッション・ポリシーを掲げますので、ご覧ください。

<https://human-socio.w3.kanazawa-u.ac.jp/admissions>



3 募集人員

[第1期募集、第2期募集とも令和7（2025）年4月入学です]

専攻名		第1期募集	第2期募集	計
人文学専攻	学際総合型プログラム 専門深化型プログラム	8名（※3）	10名	23名
	公認心理師養成プログラム	5名	若干名（※4）	
経済学専攻		3名（※1、※2、※3）	3名（※1、※2）	6名
地域創造学専攻		7名（※1、※3）	7名	14名
国際学専攻		5名（※3）	5名	10名
合計		28名	25名	53名

【注】1 募集人員には、4月入学の「一般選抜」、「社会人特別選抜」、「外国人留学生特別選抜」のほか、下記選抜試験の募集人員（それぞれ若干名）を含みます。

※1：短期（1年）在学型選抜（4月入学）、※2：学内推薦特別選抜（4月入学）

※3：一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜（10月入学）

ただし、各専攻の4月入学者数が募集人員に達した場合には、当該専攻において10月入学の「一般選抜」、「社会人特別選抜」は実施しません。10月入学の「外国人留学生特別選抜」は上記の場合でも実施します。

- 2 公認心理師養成プログラムについては、第1期募集で募集人員に満たない場合にのみ、第2期募集を実施します（※4）。第2期募集の実施の有無は、令和6（2024）年10月中旬に本研究科Webサイトにてお知らせします。合格者発表の詳細には、11 合格者発表を確認してください。また、入学後に他プログラム・他専攻から転入することはできません。

4 出願資格

各選抜の出願資格は、以下の各号のいずれかに該当する者及び令和7（2025）年3月31日までに該当する見込みの者。

ただし、下記選抜においては、次の出願資格も満たす必要があります。また、第2期募集（4月入学のみ）の出願は、日本人又は国内在住の外国人に限ります。

社会人特別選抜：令和7（2025）年3月31日までに通算3年以上の社会人経験を有する者

外国人留学生特別選抜：日本の国籍を有しない者

短期（1年）在学型選抜：令和7（2025）年3月31日までに通算3年以上の職歴を有し、在職する勤務先の所属長等の承諾を受けている者

学内推薦特別選抜の出願資格については、次ページを確認してください。

- (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者

- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学の大学院に入学した者であって、当該者を本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (10) 令和7（2025）年3月31日までに学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、我が国において、外国の大学における15年の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者であって、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めたもの
- (11) 本研究科において、個別の入学資格審査により、出願資格（1）に定める者と同等以上の学力があると認められた者で、令和7（2025）年3月31日までに22歳に達するもの

学内推薦特別選抜（経済学専攻）の出願資格及び出願要件

- (1) 出願は、第1期募集又は第2期募集のどちらか一方となります。
- (2) 出願時において、金沢大学人間社会学域経済学類4年次に在学し、令和7（2025）年3月31日までに卒業見込みの者であり、かつ、学業成績、人物ともに優れ、指導教員又は本専攻において指導を予定している教員の推薦を受けている者で、(3)の出願要件を満たすもの

(3) 出願要件

- (1) 3年次後期までの専門科目の成績について、通算GPA値が2.2以上となる者
- (2) 卒業までの在学期間が4年を超えない者（ただし、休学期間は除く）
- (3) 合格した場合、入学を確約できる者

5 出願資格事前審査

4 出願資格の(6)、(9)、(10)、(11)により出願しようとする者は、出願前に個別に出願資格審査を行いますので、下記期限までに次の書類を金沢大学人間社会系事務部学生課（入試・学生募集担当）に提出してください。

第1期募集：令和6（2024）年5月8日（水）まで

第2期募集：令和6（2024）年10月31日（木）まで

なお、郵送の場合は封筒の表に「人間社会環境研究科（博士前期課程）第〇期募集出願資格事前審査申請書在中」と朱書きしてください。

ア 出願資格事前審査申請書（本研究科所定用紙）

イ 最終学校の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書

- ウ 最終学校の成績証明書
- エ 最終学校の教育課程表及びシラバス又はこれに相当するものの写し
- オ 志望理由書（様式随意、800字程度）
- カ 研究業績調書（本研究科所定用紙）
- キ 実務経験や研究活動の内容を表す書面（様式随意、著書・論文・推薦書等）
- ク 返信用封筒（長3封筒に受信場所・氏名を明記し、344円分（速達）の切手を貼付してください。）

- 【注】 1 審査結果は、第1期募集については令和6（2024）年5月中旬までに、第2期募集については令和6（2024）年12月上旬までに通知します。提出された書類は返却しません。
- 2 外国の学校及び機関等の証明書等には、その和訳若しくは英訳及び説明書を添付してください。

6 出願期間

区 分	期 間
第1期募集	令和6（2024）年5月20日（月）9：00～ 5月24日（金）17：00（日本時間）
第2期募集	令和6（2024）年12月9日（月）9：00～ 12月13日（金）17：00（日本時間）

- 【注】 1 Web出願システムは、第1期募集については令和6（2024）年5月13日（月）9時、第2期募集については令和6（2024）年12月2日（月）9時から事前登録が可能。
- 2 出願書類は郵送（書留速達郵便又はEMSに限る。）するものとし、上表の期間内に必着とします。ただし、締切日を過ぎて到着した出願書類のうち、出願期間最終日の前日までの発信局（日本国内）日付印のある書留速達郵便に限り受理します。
- 3 日本国外に在住している者は、第1期募集については令和6（2024）年5月10日（金）（※）までに、第2期募集については令和6（2024）年11月29日（金）（※）までに、「16問合せ先」へ連絡してください。出願書類の郵送方法等について案内します。
（第1期募集・第2期募集ともに上記期日（※）によって出願を認めないものではありませんが、可能な限りお早めに連絡してください。）

7 出願手続

※ 希望する指導教員に対して、出願前に事前に連絡し、相談してください（本研究科の担当教員は、「18. 担当教員一覧」（21～27 ページ）に掲載しています。）。

(1) 出願方法

○Web出願の流れ



① Web出願システム

Web出願システムへは、本学（入試情報）Webサイト（本学トップページ>入試情報・高大院接続>大学院進学>Web出願）

https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/admission-information/internet_entry

からアクセスできます。



② 出願書類の送付先

〒920-1192 金沢市角間町

金沢大学人間社会系事務部学生課（入試・学生募集担当）（宛名ラベルに印字されています。）

〈注意〉

Web出願は、出願情報の登録及び入学検定料の支払を行っただけでは、完了しません。出願期間内に、証明写真のアップロード及び提出書類の郵送（出願期間内に必着）を済ませ、内容に不備がなかった場合完了とします。

(2) 出願書類等

【注】「②Web出願システムから印刷するもの」及び「③その他必要な提出書類」は、Web出願システムにアップロードする必要はありません。提出書類は全て郵送（書留速達郵便又はEMSに限る。）で提出してください。

①Web出願システムでアップロード作業が必要なもの

証明写真データ	Web出願システムで登録及び入学検定料支払後、登録完了メールに記載のURLから、志願者本人の写真のアップロードを行ってください。 (注) 志願者本人と判別できるもので、カラー・上半身・無修正・無帽・正面向き・無背景・直近3ヶ月以内に撮影した100KB～5MBのjpg又はpng形式のデータを使用してください。
---------	---

②Web出願システムから印刷するもの（印字されている内容に誤りがないか確認してください。）

出願確認票（提出用）	Web出願システムで登録後、申込確認ページからA4サイズでカラー印刷し、提出してください。 (注) 出願確認票は、入学検定料の支払及び証明写真のアップロードが完了しないと印刷できません。出願確認票（確認用）とは異なるので、注意してください。
宛名ラベル	Web出願システムで登録後、申込確認ページからA4サイズでカラー印刷したものを送付用の封筒に貼付けてください（普通紙印刷で糊付け可）。 (注) 封筒は、市販の角形 2 号封筒（240mm×332mm）を使用し、書留速達郵便（又はEMS）で郵送してください。

③その他必要な提出書類

出願書類用紙は、下記URLに掲載の様式（電子データ）をダウンロードして、A4サイズ用の紙に印刷・作成の上、提出してください。

金沢大学大学院人間社会環境研究科Webサイト>入試情報>博士前期課程

https://human-socio.w3.kanazawa-u.ac.jp/admissions/adm_master/



①入学志願票	<p>本研究科所定の用紙に必要事項を記入してください。 なお、確認用チェックボックス用紙もあわせて記入の上、提出してください。 (注) 入学志願票の学歴欄について、出願資格(3)「外国において学校教育における16年の課程を修了した者」として出願しようとする者は、16年間の学歴が分かるよう小学校からの学歴を記入してください。</p>
②卒業(見込)証明書 (原本のみ受付)	<p>本研究科への出願資格を満たす大学の卒業(見込)証明書を提出してください。 外国の大学の場合は、大学が発行する英語又は日本語による卒業(見込)証明書を提出してください。 大学改革支援・学位授与機構で出願資格を得る者は、学位授与証明書(学位授与申請受理証明書)等学位取得に係る証明書全てを提出してください。</p>
③成績証明書 (原本のみ受付)	<p>本研究科への出願資格を満たす大学の成績証明書を提出してください。 外国の大学の場合は、大学が発行する英語又は日本語による成績証明書を提出してください。 大学に編入学した者は、短期大学又は高等専門学校等の成績証明書もあわせて提出してください。</p>
④研究計画書 【様式1】	<p>本研究科所定の用紙に、入学後の希望研究テーマ、これまでの研究分野、志望の動機、今後の研究計画について、具体的に記入してください。 経済学専攻志願者は、14ページを確認してください。</p>

※次の書類は、該当者のみが提出してください。

※経済学専攻(一般選抜、外国人留学生特別選抜)、 国際学専攻(一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜)のみ	<p>【経済学専攻志願者】 TOEIC(L&R)、TOEFL-iBT(Home Editionを含む)、IELTSのスコアの公式証明書(出願期間最終日から起算して3年以内に実施されたもの)を提出してください。複数の試験を受けている場合は、全ての証明書を提出してください。 ただし、TOEIC(L&R)-IP・TOEFL-ITPの成績証明書は使用できません。</p>
⑤英語外部試験の 証明書	<p>【国際学専攻志願者】 TOEIC(L&R)、TOEFL-iBT(Home Editionを含む)若しくはIELTSのスコアの公式証明書を提出してください。 (注) 証明書の試験時期は問いません。ただし、TOEIC(L&R)-IPの成績証明書は使用できません。</p>
※人文学専攻(一般選抜、外国人留学生特別選抜)のみ ⑥卒業論文	<p>【第1期募集の既卒志願者と第2期募集の志願者】 卒業論文(写しでも可)又はそれに代わる研究論文若しくはレポート(2,000字以上、ただし欧文の場合は500語以上)を4部提出してください(入学後の研究テーマに即した専門知識、研究能力の有無が判断できるものが望ましい)。 (注1) 日本語又は英語以外の言語による論文の場合は、日本語又は英語の要約も4部提出してください。 (注2) 第2期募集の志願者で出願期間には卒業論文が提出前である者は、卒業論文又はそれに代わる研究論文若しくはレポートを出願期間内に提出し、卒業論文提出後に改めて卒業論文を4部提出してください。</p>

<p>※国際学専攻（一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜）のみ</p> <p>⑥卒業論文</p>	<p>【第1期募集の既卒志願者と第2期募集の志願者】</p> <p>卒業論文（写しでも可）又はそれに代わる研究レポートを4部提出してください（入学後の研究テーマに即した専門知識、研究能力の有無が判断できるものが望ましい）。</p> <p>（注1）日本語又は英語以外の言語による論文の場合は、日本語又は英語の要約も4部提出してください。</p> <p>（注2）第2期募集の志願者で出願期間には卒業論文が提出前である者は、卒業論文に代わる研究レポートを出願期間内に提出し、卒業論文提出後に改めて卒業論文を4部提出してください。</p>								
<p>※国際学専攻のみ</p> <p>⑦研究レポート</p>	<p>【国際関係・地域研究コースの志願者】</p> <p>・指導を希望する教員の専門科目に従い、以下に定められた研究レポートを作成し、4部提出してください（形式任意）。ただし、第1期募集の既卒志願者と第2期募集の志願者は、大学院での研究テーマと密接に関連する卒業論文を提出するのであれば、研究レポートを⑥卒業論文に代えることを認めます。</p> <table border="1" data-bbox="547 819 1420 1039"> <thead> <tr> <th>専門科目</th> <th>研究レポートの内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アジア地域研究</td> <td rowspan="2">日本語（5,000字程度）で出願時に提出してください。</td> </tr> <tr> <td>ヨーロッパ地域研究</td> </tr> <tr> <td>国際関係学</td> <td rowspan="2">日本語（5,000字程度）若しくは英語（2,000ワード程度）で出願時に提出してください。</td> </tr> <tr> <td>米英地域研究</td> </tr> </tbody> </table> <p>【日本語教育・日本文化研究コースの志願者】</p> <p>・志願者が予定する修士論文のテーマに関する研究レポート（5,000字程度、日本語で記述すること）を4部提出してください。</p> <p>（注）研究レポートとは、課題の提示、先行研究、調査内容や収集データの結果及び考察、結論からなるものを指します。④研究計画書とは異なるものです。なお、諸外国語で書かれているものを含め、志願者が入学後研究を進めるために不可欠な文献について、必ず言及されていなければいけません。</p>	専門科目	研究レポートの内容	アジア地域研究	日本語（5,000字程度）で出願時に提出してください。	ヨーロッパ地域研究	国際関係学	日本語（5,000字程度）若しくは英語（2,000ワード程度）で出願時に提出してください。	米英地域研究
専門科目	研究レポートの内容								
アジア地域研究	日本語（5,000字程度）で出願時に提出してください。								
ヨーロッパ地域研究									
国際関係学	日本語（5,000字程度）若しくは英語（2,000ワード程度）で出願時に提出してください。								
米英地域研究									
<p>※経済学専攻のみ</p> <p>⑧事前課題</p>	<p>4部提出してください。詳細は、14ページの経済学専攻「記述試験（事前課題）」を確認してください。</p>								
<p>※短期（1年）在学型選抜及び14条特例適用希望者のみ</p> <p>⑨受験承諾書【様式2】</p>	<p>本研究科所定の用紙により、勤務先の所属長等が作成したものを提出してください。</p>								
<p>※学内推薦特別選抜のみ</p> <p>⑩推薦書【様式3】</p>	<p>本研究科所定の用紙に、指導教員又は本専攻における指導予定教員が作成・厳封したものを提出してください（パソコン等で作成したものでも構いません）。</p>								
<p>※外国人留学生のみ</p> <p>⑪在留カードの写し及びパスポートの写し</p>	<p>出願書類には、この証明書等に記載の氏名を使用してください。</p> <p>日本に在留している外国人は、在留カード（表・裏）の写し及びパスポート（国籍、氏名、性別、生年月日が記載されたページ）の写しを提出してください。</p> <p>日本に在留していない外国人は、パスポートの写しのみを提出してください。</p>								
<p>※該当者のみ</p> <p>⑫戸籍抄本</p>	<p>改姓等の理由で成績証明書等の記載事項が出願時と異なっている場合は、戸籍抄本を1部提出してください。</p>								

(4) 入学検定料の支払

入学検定料 30,000円 ※入学検定料のほかに、サービス利用料として別途990円が必要です。

<注意>国費外国人留学生は、入学検定料の支払は不要です。出願前に、「16問合せ先」まで連絡してください。

【支払方法】

コンビニエンスストア、銀行ATM (Pay-easyでの支払)、クレジットカード (VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club) 及びネットバンキング (PayPay銀行及びセブン銀行の2行は利用できません。) のいずれかで支払可能です。

<注意>

- 1 支払を完了すると、出願情報の修正はできません。必ず支払前に入力した出願情報 (特にメールアドレスや電話番号) に間違いがないか確認してください。
- 2 銀行窓口での支払はできません。
- 3 コンビニエンスストアに設置されている銀行ATMでの支払はできません。
- 4 クレジットカード及びネットバンキングの名義は、志願者と同一である必要はありません。
- 5 出願書類受理後は、いかなる理由があっても入学検定料の返還には応じません。ただし、入学検定料の支払後、出願しなかった場合は返還手続きを行うことができますので、令和7 (2025) 年3月31日 (月) までに手続きを行ってください。検定料返還手続き方法は以下のWebサイトで確認してください。

本学 (入試情報) Webサイト (本学トップページ>入試情報・高大院接続>大学院進学>検定料免除・返還)

https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/kenteiryo_henkan/



8 受験票の印刷

第1期募集は令和6 (2024) 年6月24日 (月) 頃から、第2期募集は令和7 (2025) 年1月14日 (火) 頃から、Web出願システムより受験票の印刷が可能です。「申込確認画面」からログインし、A4サイズで印刷してください。

- (1) 受験票には、受験上の注意・試験会場案内が確認できるWebサイトのURL及び2次元バーコードがあります。必ずアクセスして内容を確認の上、受験してください。
- (2) 氏名等に間違いがある場合には、「16問合せ先」まで連絡してください。
- (3) 試験当日は、印刷した「受験票」を必ず持参してください。
- (4) 受験番号は、入学手続にも必要です。それまで「受験票」は大切に保管してください。

<提出が必要な書類一覧>

●は提出が必要な書類，◎は場合により提出が必要な書類若しくは当日持参する書類を示します。
詳細は，7出願手続の(2)を確認してください。

専攻	選抜区分	提出書類 (Web出願システム から印刷)	提出書類(その他)									
		・出願確認票(提出 用) ・宛名ラベル	①入学志願票 ②卒業(見込)証明書 ③成績証明書 ④研究計画書【様式1】	⑤英語外部 試験の証明 書	⑥卒業論文 (4部)	⑦研究 レポート (4部)	⑧事前課題 (4部)	⑨受験承諾 書 【様式2】	⑩推薦書 【様式3】	⑪在留カードの写し及 びパスポートの写し	⑫戸籍抄本	
人文学専攻	一般選抜	●	●	-	◎	-	-	-	-	-	◎外国人の 志願者	◎該当者のみ
	社会人特別選抜	●	●	-	-	-	-	◎	-	-		
	外国人留学生特別選抜	●	●	-	◎	-	-	-	-	-	●	
経済学専攻	一般選抜	●	●	●	-	-	●	-	-	-	◎外国人の 志願者	
	社会人特別選抜	●	●	-	-	-	●	◎	-	-		
	外国人留学生特別選抜	●	●	●	-	-	●	-	-	-	●	
	短期(1年)在学型選抜	●	●	-	-	-	●	●	-	-	◎外国人の 志願者	
	学内推薦特別選抜	●	●	-	-	-	-	-	●	-		
地域創造学専攻	一般選抜	●	●	-	-	-	-	-	-	-	◎外国人の 志願者	
	社会人特別選抜	●	●	-	-	-	-	◎	-	-		
	外国人留学生特別選抜	●	●	-	-	-	-	-	-	-	●	
	短期(1年)在学型選抜	●	●	-	-	-	-	●	-	-	◎外国人の 志願者	
国際学専攻	一般選抜	●	●	●	◎	◎	-	-	-	-	◎外国人の 志願者	
	社会人特別選抜	●	●	●	◎	◎	-	◎	-	-		
	外国人留学生特別選抜	●	●	●	◎	◎	-	-	-	-	●	

9 選抜方法

入学者の選抜は、記述試験、口述試験、研究計画書及び出身大学の成績等を総合して行います。専攻ごとの選抜方法は以下のとおりです。

人文学専攻

◆学際総合型プログラム

i) 《一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜》【第1期募集】【第2期募集】共通

プログラム名	記述試験	口述試験
	専門科目	
認知科学	別表1-①から入学後専攻しようとする1科目を選択	提出した研究計画書及び受験した専門科目を中心に行います。
ヨーロッパ・東アジア		
文化圏史		
比較文学		
ジェンダー学		
文化資源学		

別表1-①

専門科目	備考
認知科学	英語の文献読解能力に関する問題を含むことがあります。
ヨーロッパ・東アジア文化圏史	選択問題によって構成されます。「日本史学」「東洋史学」「西洋史学」の各分野のうち、2分野の問題（史料や外国語文献の読解を含むことがあります。）から2題を選択します。
比較文学	共通問題と選択問題によって構成されます。共通問題は比較文学に関する概説的な小論文問題で、全受験者必須です。選択問題は、「日本文学」、「中国文学」、「英米文学」、「ドイツ文学」、「フランス文学」の分野から問題を出題します（2分野を選択）。
ジェンダー学	共通問題と選択問題によって構成されます。共通問題はジェンダー学に関する概説的な問題で英語の文献読解力に関する問題を含むことがあります。全受験者必須です。選択問題は「文学・文化学的アプローチ」と「社会科学的アプローチ」から各1題、計2題の中から1題を選択します。
文化資源学	「考古学」「文化遺産学」「比較文化学」の各分野から1題、計3題を解答します。

◆専門深化型プログラム

i) 《一般選抜》【第1期募集】【第2期募集】共通

プログラム名	記述試験	口述試験
	専門科目	
哲学	別表1-②から入学後専攻しようとする1科目を選択	<p>【第1期募集】 提出された研究計画書及び受験した専門科目を中心に行います。</p> <p>【第2期募集】 提出された研究計画書及び受験した専門科目、ならびに提出された卒業論文又はそれに代わる研究論文若しくはレポートを中心に行います。</p>
心理学		
社会学		
地理学		
文化人類学		
日本史学		
東洋史学		
西洋史学		
考古学		
日本語学日本文学		
中国語学中国文学		
英語学英米文学		
ドイツ語学ドイツ文学		
言語学		
文化遺産学		
比較文化学		

別表1-②

専門科目	備考
哲学	英語文献及び外国語文献（英語、ドイツ語、フランス語から1か国語を選択）の読解問題を含みます。辞書類を貸与する場合があります。
心理学	英語文献読解問題を含みます。
社会学	
地理学	
文化人類学	英語文献読解問題を出題することがあります。関係史料の読解問題を含みます。
日本史学	
東洋史学	研究を進める上で必要となる外国語文献及び関係史料の読解問題を含みます。
西洋史学	
考古学	英語の文献読解力に関する問題を含みます。

日本語学 日本文学	<p>【第1期募集】外国語問題と専門問題から構成されます。</p> <p>【第2期募集】専門問題から構成されます。</p>
中国語学 中国文学	<p>〔外国語問題〕一般的な読解力と表現力を問う問題です。英語、中国語、ドイツ語、フランス語から1つ選択してください。ただし、母語にあたる言語、及び選択した専門科目名に含まれる言語名と同一のものは選択できません。出願時に入学志願票にて選択する外国語を申請してください。</p>
英語学 英米文学	<p>〔専門問題〕選択した専門科目に応じて以下のとおりとなります。</p> <p>日本語学日本文学：「日本古典文学」、「日本近代文学」、「日本語学」の3分野のうち研究計画書の希望研究テーマに応じた1分野を選択してください。</p> <p>中国語学中国文学：「中国語読解力」、「中国語学」、「中国文学」の3分野から出題します。</p>
ドイツ語学 ドイツ文学	<p>英語学英米文学：「英語読解力」、「英語表現力」、「英語学」/「英米文学」（研究計画書の希望研究テーマに応じて選択）の3分野から出題します。</p> <p>ドイツ語学ドイツ文学：「ドイツ語読解力」、「ドイツ語表現力」、「ドイツ語学」/「ドイツ文学」（研究計画書の希望研究テーマに応じて選択）の3分野から出題します。</p>
言語学	<p>言語学：英語文献読解問題を含みます。</p>
文化遺産学	英語文献読解問題を含みます。
比較文化学	

ii) 《社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜》【第1期募集】【第2期募集】共通

プログラム名	記述試験	口述試験
	専門科目	
哲学	別表1-③から入学後専攻しようとする1科目を選択	提出された研究計画書及び受験した専門科目を中心に行います。
心理学		
社会学		
地理学		
文化人類学		
日本史学		
東洋史学		
西洋史学		
考古学		
日本語学 日本文学		
中国語学 中国文学		
英語学 英米文学		
ドイツ語学 ドイツ文学		
言語学		
文化遺産学		
比較文化学		

別表1-③

専門科目	備 考
哲 学	外国語の文献読解力に関する問題を含むことがあります(英語、ドイツ語、フランス語から1か国語を選択)。辞書類を貸与する場合があります。
心 理 学	英語の文献読解力に関する問題を含むことがあります。
社 会 学	
地 理 学	
文 化 人 類 学	
日 本 史 学	英語文献読解問題を出題することがあります。 関係史料の読解問題を含みます。
東 洋 史 学	研究を進める上で必要となる外国語文献及び関係史料の読解力を問うことがあります。
西 洋 史 学	
考 古 学	英語の文献読解力に関する問題を含むことがあります。
日 本 語 学 日 本 文 学	「日本古典文学」、「日本近代文学」、「日本語学」の3分野のうち研究計画書の希望研究テーマに応じた1分野を選択してください。
中 国 語 学 中 国 文 学	「中国語読解力」、「中国語学」、「中国文学」の3分野から出題します。
英 語 学 英 米 文 学	「英語読解力」、「英語表現力」、「英語学」/「英米文学」(研究計画書の希望研究テーマに応じて選択)の3分野から出題します。
ド イ ツ 語 学 ド イ ツ 文 学	「ドイツ語読解力」、「ドイツ語表現力」、「ドイツ語学」/「ドイツ文学」(研究計画書の希望研究テーマに応じて選択)の3分野から出題します。
言 語 学	英語の文献読解力に関する問題を含むことがあります。
文 化 遺 産 学	
比 較 文 化 学	

◆公認心理師養成プログラム

i) 《一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜》【第1期募集】【第2期募集】共通

プログラム名	記 述 試 験	口 述 試 験
	専 門 科 目	
公 認 心 理 師 養 成	事例問題と臨床心理学を中心とした心理学について出題します。また、英語文献読解問題を含みます。	提出された研究計画書及び受験した専門科目を中心に行います。また、臨床実践に対する考えや理解を問います。

経済学専攻

全コース、【第1期募集】【第2期募集】共通

	記述試験（事前課題）	口述試験
一般選抜・外国人留学生特別選抜（※1）	入学後の研究課題に関し、研究目的、同研究課題に関する先行研究の動向と自らの研究の独自性、想定される研究方法を文章化し、提出してください（和文の場合4000字程度、英文の場合1,500ワード程度）。他者の代筆や生成AIの利用は不正とします。	提出された出願書類及び事前課題に基づき、これまでの学習・研究状況や今後の研究計画等について問います。
社会人特別選抜・短期（1年）在学型選抜（※1）	入学後の研究課題に関する着想の背景、自身の研究経過、研究の方法、研究の意義について3,000字程度で文章化し、提出してください。他者の代筆や生成AIの利用は不正とします。	提出された出願書類及び事前課題に基づき、これまでの学習・研究状況や今後の研究計画等について問います。
学内推薦特別選抜（※2）	事前課題は課しませんが、提出書類のうち「研究計画書」を全2ページで作成してください。	提出された出願書類に基づき、これまでの学習・研究状況や今後の研究計画等について問います。

※1 重複を避けるため、学内推薦特別選抜以外は、提出書類の「研究計画書」を1ページ内に収めてください。

※2 先に出願資格審査を行い、審査結果を第1期募集は令和6（2024）年6月13日（木）に、第2期募集は令和7（2025）年1月9日（木）に志願者あてにアカンサスポータルで通知します。口述試験受験資格を有する者に対し、試験日に口述試験を実施します。

地域創造学専攻

《一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜》【第1期募集】【第2期募集】共通

コース名	記述試験	口述試験
	専門科目	
地域創造学コース	別表3-①から入学後専攻しようとする科目1科目（第1希望の指導教員の科目）を選択	提出された研究計画書、研究経過・実績報告書（社会人特別選抜のみ）及び受験した専門科目を中心に問います。
教育支援開発学コース		

注：原則日本語で実施し、口述試験では日本語の能力を問います。

別表3-①（地域創造学コース）

専門科目	備 考
人と自然の共生	基礎問題と応用問題から出題します。
地域協働	
共生社会	

別表3-① (教育支援開発学コース)

専門科目	備 考
心身健康学研究	基礎問題と応用問題から出題します。
教育支援研究	
近代教育・社会研究	
家庭生活研究	
アートプランニング 研究	
コンサー ト プランニング研究	
スポーツ指導研究	

国際学専攻

《一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜》【第1期募集】【第2期募集】共通

コース名	分野又は区分	記述試験（事前課題）	口述試験
国際関係・地域 研究コース	アジア地域研究／ヨー ロッパ地域研究／国際 関係学／米英地域研究	「7 出願手続(2) ⑥卒業論文 (8ページ) 又は⑦研究レポ ート」(8ページ) を出願時に 提出することで、記述試験に 充てます。	提出された研究計画書、卒業 論文（又はそれに代わる研究 レポート等の内容を中心に行 います。
日本語教育・ 日本文化 研究コース	日本語教育学・日本語 学・日本文化学		

10 試験日時

(1) 試験日

区 分	試 験 日
第1期募集	令和6（2024）年7月6日（土）
第2期募集	令和7（2025）年2月1日（土）

(2) 試験科目、試験時間、試験会場

【一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜】

専 攻 名	試 験 科 目		試 験 時 間	試験場
人文学専攻 (第1・2期募集)	記述試験	専門科目	9:30 ~ 12:30	金沢大学 人間社会第1講義棟 又は第2講義棟 (詳細は受験票印刷 時に確認してくださ い。)
	口 述 試 験		14:00 ~	
経済学専攻 (第1・2期募集)	口 述 試 験		9:30 ~	
	記述試験	専門科目	10:30 ~ 12:30	
地域創造学専攻 (第1・2期募集)	口 述 試 験		14:00 ~	
	口 述 試 験		9:30 ~	

【短期（1年）在学型選抜】

専攻名	試験科目	試験時間	試験場
経済学専攻 (第1・2期募集)	口述試験	9:30 ~	金沢大学 人間社会第1講義棟又は 第2講義棟 (詳細は受験票印刷時に確 認してください。)
地域創造学専攻 (第1期募集)	口述試験	14:00 ~	

【学内推薦特別選抜】

専攻名	試験科目	試験時間	試験場
経済学専攻 (第1・2期募集)	口述試験	9:30 ~	金沢大学 人間社会第1講義棟又は 第2講義棟 (詳細は受験票印刷時に確 認してください。)

11 合格者発表

区分	日 時
第1期募集	令和6（2024）年7月29日（月） 16:00（予定）
第2期募集	令和7（2025）年2月20日（木） 16:00（予定）

【注】 合格者の受験番号を本学所定の掲示板（人間社会第2講義棟1階学生課前）及び研究科Webサイトにおいて発表するとともに、金沢大学（入試情報）Webサイトの「オンライン合否照会システム」から合否の確認をすることができます。

合格通知書が必要な場合は、「オンライン合否照会システム」からダウンロードしてください（合格通知書は送付しません）。

なお、電話等による合否の照会には一切応じません。

また、合格者は、人間社会環境研究科長あて「入学意思確認届」（様式は、研究科Webサイトに掲載）を「16問合せ先」までメールで提出してください。

金沢大学大学院人間社会環境研究科Webサイト

<https://human-socio.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

オンライン合否照会システム

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/onlinegouhisyoukai/>



12 入学手続

入学手続期間及び手続方法については、第1期募集合格者には2月下旬、第2期募集合格者には合格発表後に「大学院入学手続要項」によりお知らせします。

なお、海外在住の外国人留学生は、合格後に銀行口座残高証明書（残高100万円以上）の提出が求められます（在留資格認定証明書（COE）交付申請のため）。

13 授業料等納付金

(1) 入学金 282,000円（予定）

※国費外国人留学生は不要です。

(2) **授業料** 前期分 267,900円 (予定) [授業料年額 535,800円 (予定)]

《注》① 上記の納付金額は予定額であり、入学時又は在学中に入学料・授業料を改定した場合には、改定時から新たな金額を適用します。

② 授業料の納入は、預金口座振替（届出口座）から指定日に自動引落により納入する方法となります。

③ 国費外国人留学生は、授業料の納入は不要です。

④ 授業料免除については、以下のWebサイトで確認してください。

https://www.kanazawa-u.ac.jp/students/economic/tuition_waiver



(3) **その他必要な経費**

学生教育研究災害傷害保険料（付帯賠償を含む・2年分） 2,430円（予定）

（短期（1年）在学型は、（付帯賠償を含む・1年分） 1,340円）（予定）

なお、外国人留学生は外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険（インバウンド付帯学総）への加入を強く推奨します。詳細は、留学生オリエンテーションで説明します。

14 その他

(1) 英語外部検定試験の受験について

※本研究科では英語能力強化の一環として、原則、入学後に一定の基準（TOEIC(L&R)600点相当）を満たす英語の外部検定試験のスコアを取得することを修了要件の一つとしています。

※ただし、以下のいずれかに該当する者は、英語検定試験の受験が免除されます。免除されるためには、「英語検定試験受験免除申請書」を提出し、審査を受ける必要があります。

①TOEIC(L&R) 760点、TOEFL-iBT 80点、TOEFL-ITP 550点又はIELTS 6.0以上のスコアを持つ者

②社会人特別選抜又は短期（1年）在学型選抜により入学した者

③英語母語話者（一般に英語を公用語とする国に生まれ育ち、英語を第一言語として獲得した者）

④その他研究科長が特に認めた者

※受験料は学生の自己負担となります。

(2) 標準修業年限

本研究科（博士前期課程）の標準修業年限は2年（短期（1年）在学型は1年）です。ただし、優れた研究業績を上げた者については、1年で修了することが認められる場合があります。

(3) 大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例制度

本研究科では、在職者等必要がある者に対して、大学院での学修を容易とするための「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例」の制度があります。この制度を利用することで、人間社会環境研究科規程等に定められた教育課程に基づき、担当指導教員の許可・指導の下で弾力的に学修することができます。

制度の適用を希望する場合は、入学志願票の14条特例希望欄に☑を入れてください。また、受験承諾書【様式2】を提出してください。なお、同第2条の2（専ら夜間において教育を行う大学院の課程）には該当しません。

参考：大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）「抄」

第14条 大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

(4) 長期履修制度

本研究科では、短期（1年）在学型選抜を除いて、仕事あるいは家事、育児、介護等に就いている人たちのために、標準修業年限を超えて履修を認める特別な制度（長期履修制度）を設けています。この制度を利用すれば、大学院学則に規定される在学年限（原則として、博士前期課程は4年）の範囲内で、長期履修期間を設定することができます。授業料は、標準修業年限（2年）の授業料総額を長期履修として認められた期間に学期ごとに均分して支払うことになります。

対象となる学生は次のいずれかに該当する者で、標準就業年限内での修学が困難な事情にあるものです。

ア 有職者（臨時雇用を含む）

イ 家事、育児、介護等に就いている者

ウ 身体障がい、知的障がい、精神障がい（発達障がいを含む。）その他の心身の機能に障がいがある者

長期履修を希望する場合は、入学志願票の長期履修制度希望欄にを入れてください。申請しても許可されないこともありますので、ご了承ください。

(5) 障がいのある者等の事前相談

心身に障がいがあるため、受験及び修学に特別な配慮を必要とする者は、第1期募集は令和6（2024）年5月8日（水）までに、第2期募集は令和6（2024）年10月31日（木）までに次の書類を16に記載の問合せ先まで提出し、相談してください。

ア 出願に伴う事前相談書（次の事項について記載したもの。様式は任意）

- ① 氏名、住所、連絡先、志望コース名
- ② 障がいの種類・程度
- ③ 受験及び修学に配慮を希望する事項
- ④ 大学等で配慮されていた事項
- ⑤ 日常生活の状況
- ⑥ その他参考となる事項

イ 医師の診断書（写しも可）

ウ その他の参考書類等（障害者手帳の写し等）

(6) 英語での受験及び修学を希望する志願者の事前相談

入試は、提出書類及び選抜方法に特別な記載がない場合は、日本語で実施します。

英語での受験及び修学を希望する者は、希望する指導教員に事前に相談してください。

(7) 金沢大学独自の奨学金制度（外国人留学生対象）

金沢大学は外国人留学生を対象として、奨学金制度を設けています。

詳しくは以下の Web サイトを確認してください。

<https://intl-support.w3.kanazawa-u.ac.jp/tuition/>



(8) 外国人留学生日本就職促進プログラム 留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト「Link KAGAYAKI」

日本での就職・キャリアを考えてみませんか。

プログラム履修者のうち、日本企業就職希望者は100%日本企業から内定を獲得しています。

本学では、日本での就職を検討している外国人留学生を対象にビジネス日本語教育・キャリア教育・インターンシップを軸とした付加プログラムを展開しています。これにより、高度な専門知識と技術を有するだけでなく、日本の企業文化や地域特性を理解した上で、日本企業で活躍できる人材を育成し、日本での就職を支援します。

プログラム説明会は入学時期に応じて4月・10月の年2回行います。日程は入学後に通知しますので、是非出席してください。

なお、外国人留学生日本就職促進プログラムに係る問合せ先は以下のとおりです。

金沢大学学務部キャリア支援室 〒920-1192 金沢市角間町 TEL 076-264-6045

Link KAGAYAKI Webサイト

<https://kagayaki.w3.kanazawa-u.ac.jp>



Link KAGAYAKI事務局メール

kagayaki-jimu@adm.kanazawa-u.ac.jp



(9) 注意事項

- ① 一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜、学内推薦特別選抜、短期（1年）在学型選抜は、各募集期での併願はできません。いずれか一つを選択し、出願してください。
- ② 出願書類受理後は、書類の返却及び記載事項の変更には応じません。
- ③ 選抜試験において記述試験が課せられている場合には、記述試験を受験しなければ、口述試験は受験できません。
- ④ 出願書類に虚偽の記載、不正申告をした者及び入学試験において不正な行為を行った事実が判明した者については、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。その場合、振り込まれた入学金は返還しません。
- ⑤ 配点

【一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜】

専攻名	試験科目		配点
人文学専攻 (第1・2期募集)	記述試験	専門科目	200
	口述試験		300
経済学専攻 (第1・2期募集)	記述試験(事前課題)		200
	口述試験		300
地域創造学専攻 (第1・2期募集)	記述試験	専門科目	200
	口述試験		300
国際学専攻 (第1・2期募集)	記述試験(事前課題)		200
	口述試験		300

(注1) 社会人特別選抜：社会人としての経験等を積極的に評価

(注2) 外国人留学生特別選抜：留学生の言語背景等を考慮して評価

【短期（1年）在学型選抜】

専攻名	試験科目		配点
経済学専攻 (第1・2期募集)	記述試験(事前課題)		200
	口述試験		300
地域創造学専攻 (第1・2期募集)	記述試験	専門科目	200
	口述試験		300

【学内推薦特別選抜】

専攻名	試験科目	配点
経済学専攻 (第1・2期募集)	口述試験	500

(10) 過去の試験問題の公表

過去の筆記試験問題については、下記Webサイトを確認してください。
金沢大学大学院人間社会環境研究科Webサイト>入試情報>博士前期課程
https://human-socio.w3.kanazawa-u.ac.jp/admissions/adm_master/



15 個人情報の保護

金沢大学では、個人情報の保護に関する法律及び学内管理規程等に基づき、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が入学選抜を通じて取得した個人情報及び入学手続き時に提出する書類に記載されている全ての個人情報は、当該研究科の学生募集要項で明示した利用目的のほか、次の業務で利用します。

- (1) 入学選抜及び入学手続きに関わる業務
- (2) 入学後の学籍管理、修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務
- (3) 入学後の本学ポータルサイト利用、学内LAN利用、図書館利用及び図書貸出し等の学内サービス業務
- (4) 入学料免除、授業料免除、奨学生選考等の修学支援に関わる業務
- (5) 入学料・授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務
- (6) 入学選抜に関する個人が特定できない形で行う調査研究業務
- (7) 在学者及びその家族を対象とする広報に関わる業務及び基金（寄附）に関わる業務
- (8) 卒業・修了者に対する学修成果等調査（アウトカムズ・アセスメント）、同窓会及び基金活動への支援、本学を通じた情報サービス・情報提供等に関する業務
- (9) その他、個人が特定できない形で行う統計処理業務

16 問合せ先

金沢大学人間社会系事務部学生課（入試・学生募集担当）
〒920-1192 石川県金沢市角間町
電話 076-264-5600
E-mail n-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp

17 参考資料（入学者数等一覧）

過去の入学者数等一覧を掲載しています。

https://human-socio.w3.kanazawa-u.ac.jp/admissions/adm_master/



18 担当教員一覧

各教員の主な授業科目や研究内容を知りたい場合は、金沢大学Web版シラバスや、金沢大学研究者情報を確認してください。

希望する指導教員に対して、出願前に事前に連絡し、相談してください。

- Web版シラバス

<https://eduweb.sta.kanazawa-u.ac.jp/portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx>

- 研究者情報

<https://ridb.kanazawa-u.ac.jp/public/>



(1) 人文学専攻

プログラム・コース	担当教員	専門分野
A. 学際総合型プログラム		
認知科学	入江 浩司	言語学、アイスランド語学
	小島 治幸	認知科学、認知神経科学、脳科学
	高山 知明	日本語学、言語学
	谷内 通	学習心理学、比較心理学、動物を対象とした学習・認知に関する実験的研究一般
	堀田 優子	英語学、認知科学
	松井 三枝	臨床神経心理学、臨床心理学、認知脳科学、精神神経科学、医療心理学
	荒木友希子	臨床心理学、健康心理学
	菊谷まり子	認知心理学、比較文化心理学
	小林 大祐	社会学
	渋谷 良方	英語学、認知言語学、コーパス言語学
	パトリック・グリューネベルク	行為論、運動制御論、主観性論、身体性論
安永 大地	言語学、心理言語学、認知科学	
ヨーロッパ・東アジア文化圏史	安部聡一郎	中国古代史
	田中 俊之	中世都市、中世農村、領域政策、史学一般
	根津由喜夫	史学一般
	能川 泰治	日本史、経済史
	古市 大輔	中国清代史
	細川 真由	西洋近現代史、ヨーロッパ国際関係史、フランス政治外交史、戦間期
比較文学	岩津 航	フランス文学、比較文学
	上田 望	中国文学
	杉山 欣也	日本文学
	飯島 洋	日本文学、文学一般
	猪瀬 千尋	日本文学
	佐藤 文彦	ヨーロッパ文学、文学一般
	早川 文人	ドイツ文学、オーストリア文学、大戦間期文学、モデルネ、オーストリア・ファシズム

★

★

比較文学	原 佑介	日本文学、文学一般	
	宮澤 優樹	英米・英語圏文学	
ジェンダー学	岩本 健良	ジェンダー学、社会学、教育社会学	★
	飯田 玲子	文化人類学、地域研究	
文化資源学	足立 拓朗	考古学、博物館学、西アジア史	
	市川 彰	考古学、文化財科学・博物館学、地域研究	
	小高 敬寛	考古学、文化財科学・博物館学	
	覺張 隆史	考古分子生物学、パレオゲノミクス、同位体生態学、文化財科学	
	河合 望	考古学、アジア史・アフリカ史、文化財科学・博物館学、美術史、地域研究	
	菅原 裕文	西洋美術史	
	谷川 竜一	建築史・意匠、20世紀の日本・アジア関係史、地域研究	
	森 雅秀	中国哲学・印度哲学・仏教学、美術史、宗教学	★
B. 専門深化型プログラム			
哲学	佐々木 拓	西洋倫理学	
	山本 英輔	哲学・倫理学	
心理学	岡田 努	人格心理学、青年心理学	★
	小島 治幸	実験心理学、知覚認知心理学、生理神経心理学	
	谷内 通	学習心理学、比較心理学、動物を対象とした学習・認知に関する実験的研究一般	
	荒木友希子	臨床心理学、健康心理学	
社会学	轟 亮	社会学	
	小林 大祐	社会学	
地理学	中島 弘二	人文地理学	
	宇根 義己	人文地理学	
	田中 健作	人文地理学	
文化人類学	飯田 玲子	文化人類学、地域研究（南アジア・インド）、芸能、ジェンダー&セクシュアリティ	
	大澤 隆将	社会人類学、地域研究（東南アジア、インドネシア）、環境政策、先住民権	
	山口 亮太	文化人類学、地域研究（アフリカ、カメルーン）、妖術、生物多様性保全	
日本史学	能川 泰治	日本史、経済史	
	上田 長生	近世史	
	吉永 匡史	古代史	
東洋史学	安部聡一郎	中国古代史	
	古市 大輔	中国清代史	
西洋史学	田中 俊之	中世都市、中世農村、領域政策、史学一般	
	根津由喜夫	史学一般	★
	細川 真由	西洋近現代史、ヨーロッパ国際関係史、フランス政治外交史、戦間期	

考古学	足立 拓朗	考古学、博物館学、西アジア史	
	市川 彰	考古学、文化財科学・博物館学、地域研究	
	小高 敬寛	考古学、文化財科学・博物館学	
	覺張 隆史	考古分子生物学、パレオゲノミクス、同位体生態学、文化財科学	
	河合 望	考古学、アジア史・アフリカ史、文化財科学・博物館学、美術史、地域研究	
日本語学 日本文学	杉山 欣也	日本文学	
	高山 知明	日本語学、言語学	
	飯島 洋	日本文学、文学一般	
	猪瀬 千尋	日本文学	
	大野 順子	日本文学	
	原 佑介	日本文学、文学一般	
中国語学 中国文学	上田 望	中国文学	
	原田 愛	中国古典文学	
	加納 希美	現代中国語文法	
英語学英米文学	堀田 優子	英語学、認知科学	
	渋谷 良方	英語学、認知言語学、コーパス言語学	
	ブラウン デール コリン	Applied linguistics、TESOL	
	宮澤 優樹	英米・英語圏文学	
ドイツ語学 ドイツ文学	佐藤 文彦	ヨーロッパ文学、文学一般	
	西出 佳代	言語学	
	早川 文人	ドイツ文学、オーストリア文学、大戦間期文学、モデルネ、オーストリア・ファシズム	
言語学	入江 浩司	言語学、アイスランド語学	
	安永 大地	言語学、心理言語学、認知科学	
	菅沼健太郎	言語学	
文化遺産学	菅原 裕文	西洋美術史	
	谷川 竜一	建築史・意匠、20世紀の日本・アジア関係史、地域研究	
比較文化学	森 雅秀	中国哲学・印度哲学・仏教学、美術史、宗教学	★
	水野 さや	東洋美術史	
C. 公認心理師養成プログラム			
	岡田 努	人格心理学、青年心理学	★
	小島 治幸	実験心理学、知覚認知心理学、生理神経心理学	
	谷内 通	学習心理学、比較心理学、動物を対象とした学習・認知に関する実験的研究一般	
	荒木友希子	臨床心理学、健康心理学	
	松井 三枝	臨床神経心理学、臨床心理学、認知脳科学、精神神経科学、医療心理学	★
	原田 克巳	臨床心理学、スクールカウンセリング	
	村山 恭朗	臨床心理学、教育心理学	
	吉村 晋平	臨床心理学、認知行動療法、精神病理学	

	上宮 愛	司法・犯罪心理学、認知心理学、発達心理学
--	------	----------------------

注 ★は令和8（2026）年3月に、☆は令和9（2027）年3月に退職予定の教員です。

(2) 経済学専攻

プログラム・コース	担当教員	専門分野	
経済理論・政策コース	碓山 洋	財政学、公共政策論	★
	井出 明	観光学（特にダークツーリズム）、アートマネジメント、社会情報学	
	大木 一慶	マクロ経済学	
	加藤 峰弘	金融論、銀行論	
	金間 大介	イノベーション論、マーケティング論	
	小林 信介	経済史、日本史、地域史、社会運動史、移民史、民衆史	
	齋藤 毅	国際経営、国際人的資源管理論	
	阪口 博政	管理会計（医療分野）、医療管理学	
	佐藤 清和	財務会計	★
	佐藤 秀樹	英仏金融史、ヨーロッパ金融	
	佐無田 光	地域経済学	
	鈴木 智気	経営管理論	
	瀬尾 崇	政治経済学、経済学史、進化経済学	
国際社会・経済コース	高梨 誠之	ミクロ経済学、ゲーム理論	
	竹島 貞治	簿記会計、会計制度、会計理論、会計史	
経営情報コース	千葉 芳広	医療史、労働史、農業史、東南アジア史	
	張 婧	マーケティング論（サービス・マーケティング、小売マーケティング、顧客理解、価値共創）	
	原田 魁成	データサイエンス	
	藤澤美恵子	応用ミクロ経済学（実験経済学・都市経済学等）	
	星野 伸明	経済統計学	
	正木 響	経済発展論、西アフリカ経済史、貨幣・通貨、世界経済論	
	松浦 義昭	ビジネスファイナンス	
	松島 大輔	グローバルアントレプレナー、破壊的イノベーション、エフェクチュエーション、リスタートアップ、シン産業化（システム・メイキング）	
	松本 拓史	エネルギーファイナンス、金融工学、時系列予測	
	柳 在圭	生産システム、経営工学、サプライチェーンマネジメント	★
	吉居 史子	国際政治学、国際関係論	★

注 ★は令和8（2026）年3月に、☆は令和9（2027）年3月に退職予定の教員です。

(3) 地域創造学専攻

◆は、地域創造学専攻専任教員のうち、短期（1年）在学型プログラムにもとづく学生を受入れる教員です。

プログラム・ コース/ 専門科目	担当教員	専門分野
地域創造学コース		
人と自然の 共生	青木 賢人	【地域環境研究】自然地理学：地理学、地形学、防災科学、ジオパーク・エコパーク
	大野 智彦	【地域政策研究】環境政策論：環境ガバナンス、河川政策
	菊地 直樹	【地域課題研究】環境社会学：地域マネジメント論、環境社会学、自然再生論
	坂本 貴啓	【地域環境研究】河川環境学：河川管理、流域まちづくり、水源地域振興、市民参加
	寺沢なお子	【地域食環境研究】食環境学：食生活学、栄養学、健康科学
	林 紀代美	【地域環境研究】人文地理学：地理学、水産学一般、自然災害科学・防災学、食生活学
	林 直樹	【地域食環境研究】農村計画論：農村計画学、生態系サービス、撤退の農村計画
	山田菜緒子	【文化資源コミュニケーション研究】資源保全・コミュニケーション：インタープリテーション、遺産資源保全、持続的な観光、来訪者研究
地域協働	一方井祐子	【地域調査・分析研究】科学技術社会論：科学コミュニケーション論
	石川多加子	【地域健康評価研究】地域法学：憲法
	岩田 英樹	【地域健康評価研究】健康教育学：応用健康科学、教科教育学（保健）
	奥田 恒	【地域政策研究】地域政策論：地方自治、公共政策学、政治理論
	川澄 厚志	【地域経営論研究】地域経営論：観光まちづくり、コミュニティ開発
	佐川 哲也	【地域課題研究】スポーツ社会学：スポーツ科学、子ども学（子ども環境学）
	芝口 翼	【運動と健康増進研究】スポーツ・健康科学：スポーツ科学、環境生理学（含体力医学・栄養生理学）、筋生理・生化学
	白石 英巨	【地域調査・分析研究】地域居住論：都市計画・建築計画、土木計画学・交通計画、まちづくり
	丹羽 孝仁	【地域調査・分析研究】経済地理学：地域調査マネジメント、地域分析
	藤谷かおる	【地域健康評価研究】スポーツ経営学：教科教育学（体育）
	増田 和実	【運動と健康増進研究】健康増進科学：スポーツ科学、運動生理学・生化学、環境生理学（含体力医学・栄養生理学）、生体医工学
	丸谷 耕太	【地域経営論研究】コミュニティ・デザイン論：コミュニティ・デザイン、文化的景観、伝統工芸、ランドスケープ論

共生社会	小澤 裕香	【福祉国家論研究】社会政策論：社会政策、貧困対策、社会的排除	
	高橋 涼子	【社会福祉調査研究】福祉・医療社会学：社会学、障害学、ジェンダー学	★
	田邊 浩	【福祉国家論研究】公共社会学：社会学、社会理論、現代社会論、福祉国家論、文化社会学	◆
	田村うらら	【文化資源コミュニケーション研究】文化動態論：人類学、文化変容、モノ研究	
	堤 敦朗	【社会福祉基礎研究】国際障害学：社会福祉学、公衆衛生学、国際精神保健学	
	眞住 優助	【社会福祉調査研究】国際社会学：社会学	
	眞鍋 知子	【社会福祉調査研究】地域社会学：社会学	◆
	村上 慎司	【社会福祉基礎研究】社会保障論：経済哲学	
	森山 治	【社会福祉基礎研究】社会福祉学：医療福祉論、ケア論	★
	尹 一喜	【社会福祉基礎研究】高齢者福祉論：社会福祉学、介護者支援	
教育支援開発学コース			
心身健康学 研究	池田慎之介	【幼児発達臨床論】発達心理学、感情心理学	
	小林 宏明	【言語障害支援論】特別支援教育	
	森 慶恵	【学校保健論】保健教育、養護実践、健康情報リテラシー	
	吉村 優子	【発達障害論】発達障害、脳科学、特別支援教育	
教育支援 研究	伊藤 伸也	【数学科教育】教育学、教科教育学、科学教育	
	上森さくら	【生活指導論】教育方法学	
	折川 司	【国語科教育】教科教育学	
	土井 妙子	【環境教育論】カリキュラム論	
近代教育・ 社会研究	土屋 明広	【教育行政学】教育法学、教育行政学、基礎法学	
	鳥居 和代	【教育史】教育史	
	平石 晃樹	【近現代教育思想】教育学	
家庭生活 研究	尾島 恭子	【消費生活論】家政・生活学一般	
	滝口 圭子	【保育学】発達心理学、保育学、特別支援教育	
	花輪 由樹	【生活と地域】郷土、地域学習、こどものまち、ミニ・ミュンヘン、住教育	
	森島 美佳	【衣生活学】衣・住生活学	
	綿引 伴子	【生活文化論】教科教育学、家庭科教育、ジェンダー	
アートプラン ニング研究	池上 貴之	【環境芸術デザイン論】デザイン	
	江藤 望	【地域芸術彫刻論】彫刻造形論、塑像制作、立体造形	
	大村 雅章	【地域芸術彫刻論】絵画論、絵画技法・材料論	★
	鷺山 靖	【地域工芸建築論】教科教育学、建築史・意匠、金属工芸 工芸史	
コンサート プランニング 研究	浅井 暁子	【芸術表現作編曲論】作曲、現代音楽、創作教育	
	安藤 常光	【芸術表現声楽論】歌、合唱、呼吸、表現、心	
	西島 千尋	【芸術教育論】音楽教育、音楽教育史、ミュージッキング	
スポーツ 指導研究	木村 岳裕	【運動神経科学】身体運動科学、神経生理学、スポーツ科学	
	野中 雄大	【スポーツ栄養学】糖尿病、運動、減量、臍臓、筋萎縮	
	村山 孝之	【身体運動心理学】スポーツ心理学、実験心理学、認知行動科学	

スポーツ 指導研究	山田 哲	【バイオメカニクス】 スポーツバイオメカニクス
	横山 剛士	【スポーツ教育学】 身体教育学

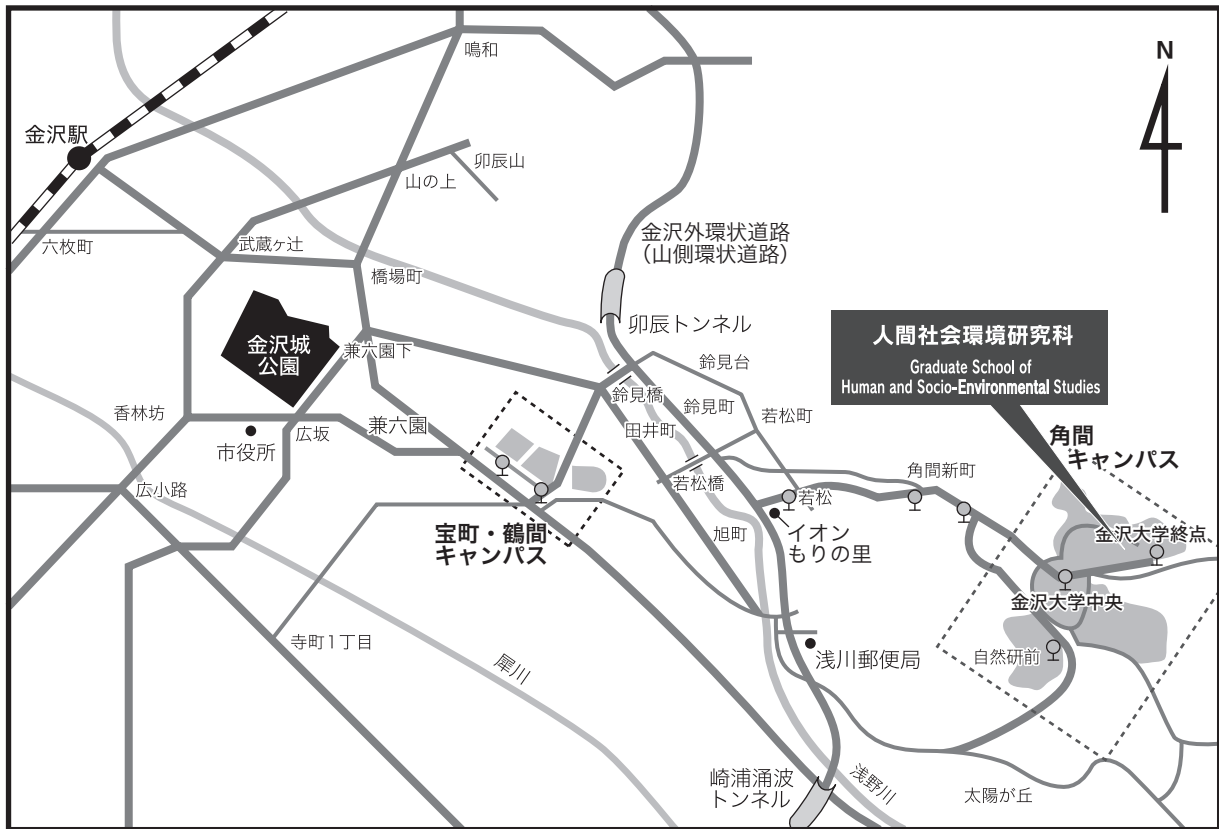
注 ★は、令和8（2026）年3月に、☆は令和9（2027）年3月に退職予定の教員です。

（4） 国際学専攻

プログラム・ コース	担当教員	専門分野	
国際関係・地域 研究コース	石黒 盛久	政治思想、ルネサンス文化史、西洋近世史	
	古泉 達矢	中国近現代史、イギリス帝国史、香港史	※
	中野 涼子	国際関係論、東アジア国際政治、日本近代思想	※
	山口 善成	初期アメリカ文学、文化研究	※
	山本 卓	イギリス文学、太平洋文学、ポストコロニアリズム批評	※
	アベ・デイヴィッド	文化人類学・民俗学、Japanese American	※
	加藤 篤行	応用計量経済学、国際経済学、生産性分析、 貿易と成長	※
	久保 拓也	アメリカ文学、ジェンダー学（男性学）、文学一般	※
	久保 豊	映画学、クィア・スタディーズ	※
	フォックス・セナン	国際関係論、東アジア国際政治史、 東アジアにおける海洋問題	※
	佐藤 俊輔	国際制度論、国際機構論	※
	ママードウア・ アイダ	ユネスコ世界遺産、エコパーク、 ジオパークにおける世代間対話、環境教育	※
	南 コニー	日本社会文化論、比較ジェンダー学、ヨーロッパ文学	
	和田 一哉	開発経済学	
	岡本 宜高	現代史、イギリス外交史、ヨーロッパ国際関係史	※
	テーレン・ティモ	Cultural Anthropology、Japanese Studies、 Media Tourism	
	渡辺 敦子	国際関係論、思想史、人文地理学	
	渡辺 達雄	教育社会学	
	ワラシー・カシム	紛争後の平和構築、民主化、国家建設	※
日本語教育・日本 文化研究コース	市嶋 典子	日本語教育	
	太田 亨	対照研究、専門日本語教育	
	清水 邦彦	日本文化、日本民俗学、日本思想史	
	ビットマン・ハイコ	スポーツ科学、思想史	
	深川 美帆	第二言語習得、日本語教育	
山本 洋	日本近世文学、日本近世史、留学生教育		

注 ※は、英語による授業科目の担当教員です。

金沢大学大学院人間社会環境研究科入学試験場案内略図



金沢大学大学院人間社会環境研究科へのアクセス

【路線バス利用】（北陸鉄道バス利用の場合）

J R 金沢駅兼六園口（東口）から北陸鉄道バス「金沢大学（角間）」行き乗車、「金沢大学（終点）」下車、徒歩3分（人間社会第2講義棟まで）

※「金沢大学中央」で下車した場合は、徒歩約5分（バス所要時間約40分）

【タクシー利用】

J R 金沢駅兼六園口（東口）から約30分

問合せ先

〒920-1192 金沢市角間町

金沢大学人間社会系事務部学生課（入試・学生募集担当）

T E L 076 (264) 5600

F A X 076 (234) 4167

E-mail n-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学大学院人間社会環境研究科Webサイト

<https://human-socio.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

